

環境と経済の好循環ビジョン 骨子 中環審



中央環境審議会の環境と経済の好循環専門委員会は、「環境と経済の好循環を目指した将来ビジョン」の骨子を固めました。同ビジョンは国民や企業、行政が一体となって実現に向けて取り組んでいけるよう明確で分かりやすい将来像を提示することを目的としています。骨子では、わが国が目指す方向および課題として、環境ビジネスの発展 循環型社会の実現 自然との共生 - の3分野について指標を交えて言及するとともに、身近で具体的な4つのイメージを提示しています。

同ビジョンは、2006年度策定予定の第三次環境基本計画の基本理念や、具体的な施策(行程表)へ反映させる考えで、今年4月をめどに総合政策部会の審議を経て環境大臣に答申します。

またそれぞれの分野で、2025年を目標に環境配慮型製品を積極的に購入する人の割合や環境保全活動に参加する人の割合、余暇に自然と触れ合う人の割合といった指標を掲げます。そして、全体としても総合指標として幅広い意味での環境関連産業の市場規模・雇用人数などの目標を設定する考えです。

その上で2025年の将来像として、自然の恵みが人を呼ぶ里 ものつくりのわざが循環をつくる街 環境の心で生まれ変わる都会 環境の豊かさを招く世界と日本という四つのイメージを提示します。

資料:2004年2月26日付 化学工業日報 p12

生活環境箇所 藤田 弥生

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

